

報道機関各位

熊本大学

～ 公共政策セミナー～  
「住民・職員の参加・協働による地域づくり  
福島県飯舘村の過去と現在」

来たる3月1日(土)に、熊本大学大学院社会文化科学研究科では、松野光伸氏(福島大学名誉教授)をお招きし、公共政策セミナー「住民・職員の参加・協働による地域づくり 福島県飯舘村の過去と現在」を開催いたします。

広く一般の方へお知らせいただくとともに、当日の取材方、よろしく願いいたします。

記

日時：2014年3月1日(土) 14:00～16:30

会場：熊本大学 文・法学部棟2階A1教室(熊本大学黒髪北キャンパス内)

対象：一般市民

参加費：無料

申込先：不要

以上

詳しくは別紙チラシまたはホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院社会文化科学研究科

担当：木村

TEL：096-342-2390

E-mail：akiko-k@kumamoto-u.ac.jp

# 住民・職員の参加・協働による地域づくり —福島県飯舘村の過去と現在—

原発事故による全村避難で有名になってしまった福島県飯舘村は人口約6000人。もともと「日本で最も美しい村」連合に加盟(熊本県内では3町村が加盟)する自然豊かな、自主・自立の地域づくりで有名な村でした。

このセミナーでは、福島大学の教員として飯舘村に20年にわたって関わってきた松野光伸さんに、「までいライフ」をキーワードにした飯舘村独自の地域づくり、原発事故後に目指された「村民一人ひとりの復興」、そして復興のジレンマについて話していただきます。

講師 **松野 光伸 (まつの てるのぶ) 氏**

福島大学名誉教授・一般社団法人ふくしまかーちゃんの代表理事・  
福島大学小規模自治体研究所客員研究員 専門は行政学・地方自治論、特に過疎行政研究  
近著に、千葉悦子・松野光伸『飯舘村は負けない』(岩波新書、2012年)  
境野健児・千葉悦子・松野光伸編著『小さな自治体の大きな挑戦』(八潮社、2011年)

司会 奥住 弘久 (熊本大学大学院社会文化科学研究科 教授)

日時 2014年3月1日(土) 14:00~16:30

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス  
文・法学部棟 2階 A1教室

事前申込不要・参加費無料

※大学院博士前期課程・  
公共政策学専攻の紹介もします

【お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科  
社会人大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:akiko-k@kumamoto-u.ac.jp



◆駐車場有り  
教室近くの駐車場をご利用ください